

消化器内科外来が 始まりました！

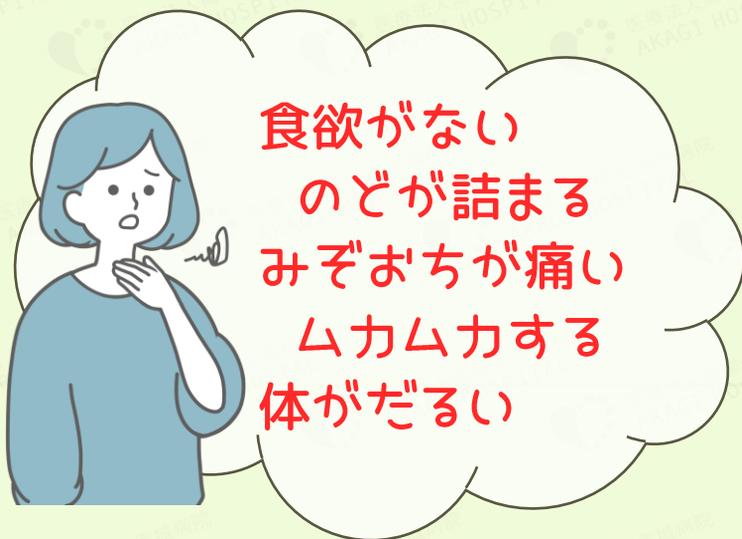
金曜午前に一般内科と消化器内科の受診ができるようになりました。

担当は現・富士市立中央病院名誉院長であり消化器分野のプロフェッショナルでもある柏木秀幸先生です。



柏木秀幸先生

このような症状がある方はご相談ください



苦しくない内視鏡検査を心がけます！



消化器内科外来のご案内

このたび、消化器外来の診察を開始しました。担当は現・富士市立中央病院名誉院長であり消化器分野のプロフェッショナルでもある柏木秀幸先生です。赤城病院は新たな強力メンバーを加え、今後とも地域のみなさまのころろ×からだを支えてまいります。

柏木先生ご挨拶

ストレスや体調の変化が胃やおなかの調子に表れることを経験したことはありませんか。脳と胃腸は密接な関係にあります。双方向で影響を与えていますので、その関係は昔から「脳腸相関」と呼ばれています。「おなか（消化管）は心の窓」ともなっていますが、身体の変調を知らせ、多彩な症状を示すことがあります。

消化管は、食道から、胃、十二指腸、小腸、大腸まで、実に9mに及ぶ長い管です。その入り口と出口は外界と繋がっていますので、身体を中心に外の世界があるのです。消化器症状に関する話は尽きることがなく、ゆえに内視鏡そのものも非常に微細な変化を見られるように進歩しております。そして精神科の患者さまにも内視鏡検査は重要なものと考えております。

一般的に検査は患者さんにとっては怖いものです。しかし、正しい診断、そして病気の早期発見のためには、消化管内視鏡検査は非常に有用な検査です。そのため苦しくない内視鏡検査が求められる時代でもあります。これから「苦しくない内視鏡検査」を心掛けながら「患者さん1人1人の症状」と向き合っていきたいと思っております。

柏木秀幸

《専門分野》

消化器

《資格・その他》

日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本食道学会食道科認定医
日本消化管学会胃腸科専門医
日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医
日本内視鏡外科学会技術認定医

《経歴》

1978年 東京慈恵会医科大学卒業
2008年 東京慈恵会医科大学外科学講座教授
2012年 東京慈恵会医科大学客員教授
2017年 富士市立中央病院院長、富士市立看護専門学校校長
2022年 富士市立中央病院名誉院長
2022年 医療法人社団敬寿会 前橋城南病院副院長

